I am Jazz!（ジャズ・スーパー列伝）

ジャズの発展に貢献し、その歴史に名を刻んだ名プレイヤーたち。その人生は、楽器が異なる如く千差万別。このコーナーでは、そんな個性的なジャズマンたちの功績を称え、生き様を紹介することで、より多くの人々にジャズの素晴らしさを伝えていきたい。

Vol. 54
Dinah Washington【ダイナ・ワシントン】
～“ブルースの女王”と称された名ヴォーカリスト～

Photo："Complete Mercury Master Takes 1943-1951"/Dinah Washington（Jazz Factory Spain）

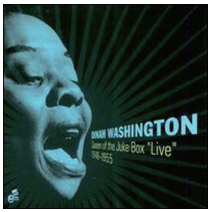
Profile

1924 年 8 月 29 日、米国アラバマ州タスカルーサで生まれる。本名は Ruth Lee Jones。幼少期に一家でシカゴへ移住。小学校時代にゴスペルに親しみ、シカゴのセント・ルークス・バップティスト教会でピアノを演奏。その後もピアノとゴスペルを歌い、サリー・マーティン・ゴスペル・シンガーズのメンバーとなる。15 歳の時にシカゴのリーガル劇場で行われたアマチュア・コンテストに出演し優勝を果たしたのをきっかけに、クラブで歌い始める。43 年にライオネル・ハンプトン楽団に加入。この頃にダイナ・ワシントンという芸名を使い始め、同年キーノート・レコードで初レコーディングを行う。46 年にマーキュリー・レコードと契約し、本格的にソロ歌手として活動をスタート。数多くのレコーディングを行い、「エイント・ミスビヘイヴィン」は 48 年に R&B チャートの 6 位を記録する他、ジャンルを超えたヒット曲を連発。58 年にテリー・ギブス、マックス・ローチやウィントン・ケリー等と出演した「第 5 回ニューポート・ジャズ・フェスティヴァル」の模様は 60 年に公開されたドキュメンタリー映画『真夏の夜のジャズ』に収録された。62 年にルーレット・レコードに移籍。ジャズというジャンルを超えて、ブルース、R&B 等、様々なジャンルを歌い“ブルースの女王”と称された。86 年に故郷アラバマの「ジャズ・ホール・オブ・フェイム」、93 年に「ロックンロール・ホール・オブ・フェイム」に選ばれた。アメリカン・フットボール選手のディック・“ナイトトレイン”・レインと結婚後、僅か半年後の 1963 年 12 月 14 日、睡眠薬とアルコール等を過剰摂取したことが原因で死去。享年 39 歳。遺体は米国イリノイ州アルシップにあるバー・オーク・セメタリーに埋葬されている。

DW's Great Album

約 20 年間の活動期間中、この 3 枚のアルバム以外にも数々の名盤と名唱を残したダイナ。1 枚でも多くの作品に触れて、ジャズ＆ブルースの醍醐味を味わって欲しい。

若きダイナのパワーが迸る厳選のライヴ音源を収録した傑作



クイーン・オブ・ザ・ジュークボックス・ライヴ 1948-1955

ダイナ・ワシントン

（Baldwin Street Music：310）

ダイナ・ワシントン (vo)、ディジー・ガレスピー (tp)、ウィントン・ケリー、ジュニア・マンス (p)、パーシー・ヒース (b)、他

1. アイ・ウォント・トゥ・クライ 2. イッツ・トゥー・スーン・トゥ・ノウ 3. アイル・ネヴァー・ビー・フリー（他、全 28 曲）

ビッグバンドをバックに歌うダイナの晩年の名唱が聴ける名作

ダイナ '62

ダイナ・ワシントン

（提供元：ワーナーミュージック・ジャパン：WPCR-29046）

ダイナ・ワシントン (vo)、アール・エドワーズ (ts)、ジャック・ウィルソン (p)、ジミー・シグラー (org)、他

1. ドリンキング・アゲイン 2. デスティネイション・ムーン 3. ミス・ユー 4. ア・ハンドフル・オブ・スターズ (他、全 14 曲）

未収録音源＆バラードを中心に収められたダイナの追悼アルバム

ラスト・アルバム

ダイナ・ワシントン

（提供元：ワーナーミュージック・ジャパン：WPCR-29224）

ダイナ・ワシントン (vo)、アール・エドワーズ (ts)、ジャック・ウィルソン (p)、ジミー・シグラー (org)、他

1. ホワッツ・ニュー 2. アイ・ユースト・トゥ・ラヴ・ユー 3. アイル・ネヴァー・ストップ・ラヴィング・ユー 4. ヒーズ・マイ・ガイ (他、全 12 曲）

1948 年のロイヤル・ルーストでのライヴ音源 2 曲、1951~52 年にウィントン・ケリー・トリオとバードランでレコーディングした 4 つのライヴ音源 19 曲、「ハーレム・ヴァラエティ・レビュー」のサウンドトラック 2 曲、1955 年のベイジン・ストリートでのライヴ音源 5 曲の計 28 曲を収録。ジャケットの表情とデザイン同様、インパクト大。20 代半ばから 30 代前半の頃の若きダイナのパワフル且つ強力に Bluesy な歌声を聴ける傑作。

39 歳でこの世を去る前年 1962 年にフレッド・ノーマンのアレンジとフレッドのビッグバンドをバックにダイナがルーレット・レコードに残した晩年の作品。「デスティネイション・ムーン」や「夕日に赤い帆」にスマッシュヒットを記録した「ホエアー・アー・ユー」の他、オリジナル LP 未収録の 4 曲「メイク・ビリーヴ・ドリームス 」「サムシングス・ガッタ・ギヴ」「アイル・ネヴァー・ストップ・ラヴィング・ユー」「ミー・アンド・マイ・ジン」も必聴。

『ラスト・アルバム』と冠するには若過ぎたダイナの死。その死後、追悼盤という形でルーレット・レコードに残した音源とアルバム未収録の音源を収めた作品。ストリングスやビッグバンドの好演をバックにダイナが歌ったバラード・ナンバーを中心に 12 曲を収録。「トゥ・フォゲット・アバウト・ユー」はダイナがこの世を去る僅か 2 か月前、1963 年 10 月 15 日に NY で録音されたもの。ダイナの 9 つの異なる表情が写るジャケットもいい。

恋多きモテモテのダイナ

ダイナ・ワシントンは芸名でライオネル・ハンプトンが名付けたと言われているが確証はなく、2 人とも既にこの世にいない今となっては謎である。ダイナの本名はルースだが、プライベートでは亡くなる僅か半年前に結婚したアメフト選手のディック・“ ナイトトレイン ”・レインが 7 人目の夫と言われている。だが、8 回結婚したとも言われており、その辺りのことも今となっては謎だ。4 番目の夫と言われるエディ・チャンブリーはサックス奏者で離婚後も共演しており、恋多きダイナはその歌声同様パワフルでダイナミックな人生を歩んだようだ。

『真夏の夜のジャズ』

1958 年に開催された「第 5 回ニューポート・ジャズ・フェスティヴァル」を記録したアメリカのドキュメンタリー映画で 1960 年に公開された『真夏の夜のジャズ』。ダイナ・ワシントンは「オール・オブ・ミー」で貫禄の熱唱を披露しており、その他、セロニアス・モンクの「ブルー・モンク」、アニタ・オデイの「二人でお茶を」、ジェリー・マリガンの「アズ・キャッチ・アイ・キャン」、ルイ・アームストロングの「聖者の行進」、マヘリア・ジャクソンの「シャウト・オール・オーバー」等々、ジャズの巨人たちの貴重なシーンが満載でジャズ史の貴重な記録でもある。

Jazz Standards（ジャズ名曲列伝） Vol.27

~ You'd Be So Nice to Come Home To【ユード・ビー・ソー・ナイス・トゥ・カム・ホーム・トゥ】~

この曲は 1943 年のミュージカル映画『サムシング・トゥ・シャウト・アバウト』の挿入歌としてコール・ポーターが作詞作曲を手掛けた。戦地に送られた青年が愛する女性を思う気持ちを曲にしており、映画ではジャネット・ブレアとドン・アメチーが歌っている。1943 年にダイナ・ショアのレコードがヒットしているが、ジャズ史では 1954 年録音『ヘレン・メリル・ウィズ・クリフォード・ブラウン』収録のヘレン・メリルの名唱が有名。人気スタンダードの 1 曲。

★ この名曲が聴けるお薦めのアルバム

- ヘレン・メリル 『ヘレン・メリル・ウィズ・クリフォード・ブラウン』
- アート・ペッパー『アート・ペッパー・ミーツ・ザ・リズム・セクション』
- ポール・チェンバース『ベース・オン・トップ』
- リロイ・ヴィネガー 『ジャズ・グレート・ウォーカー』
- 八代亜紀『夢の夜 ~ ライヴ・イン・ニューヨーク』